



## 6年生が考えた川俣シャモを使った防災食が完成

農業振興公社の皆さんの協力により、6年生が提案した川俣シャモを使った防災食が完成しました。製品化されたのは、レトルトの「川俣シャモの肉団子スープ」です。

3月15日(火)に、道の駅でお披露目と引き渡しの会を行いました。店頭コーナーが作られ、商品がたくさん積まれている様子を、6年生は嬉しそうに見つめていました。自分たちの考えたアイ



デアが、たくさんの人との関わりの中で実現した今回の経験は子どもたちにとって豊かで深い学びになりました。今回の学習を行うにあたり、オンラインで交流を重ねてきたふくしまにぎわいラボ(F-lab)の七島さんもおいでになり、子どもたちと一緒に防災食の完成を喜びました。



振興公社の皆さんから、福田小の児童用にと100食分がプレゼントされました。(昨日、各家庭に配付しましたので、ご賞味ください。)また、実際に試食もさせていただき、そのおいしさに、誰もが笑顔になりました。まさしく、子どもたちが目指して

いた「災害時に笑顔になれる防災食」の誕生です。

その後、みんなで町役場に出向き、災害時のために役立ててもらおうと、完成した「川俣シャモの肉団子スープ」200食分を届けてきました。受け取ってくださった町長と教育長からは、これまでの学びに対する賞賛の言葉や防災意識の重要性、ふるさとの未来を担う子どもたちへのエールとなるお話をいただきました。「自分たちの学びが、誰かの役に立つという経験」や「考えたことを実現させるために、様々な方法で動くという体験」は、子どもたちの将来に必ずプラスに作用すると思います。



今回の学習を進める上で、支えていただいた全ての皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

昨夜の大きな地震、11年前のあの日を思い出しました。いつでもどこでも災害は起こりえることを改めて痛感させられました。子どもたちが無事だったこと、何より嬉しく思っています。

## 【卒業式の予行】

3月16日(水曜日)。卒業式の予行練習を行いました。入場から退場まで、途中止めずに行い、本番に向けての確認

をしました。卒業生も在校生も、とても立派な態度で練習に臨み、まるで本番の卒業式のようにしました。今年はコロナ禍の影響で、練習時間が限られていましたが、短期間で集中的に練習に取り組み、予行までに仕上げてきました。福田小の子どもたちは、やはりすごいと改めて感じます。あとは、卒業式当日を待つばかりです。今年は、147年の歴史を閉じる福田小の最後の卒業式です。子どもたちの気持ちは盛り上がっています。

